

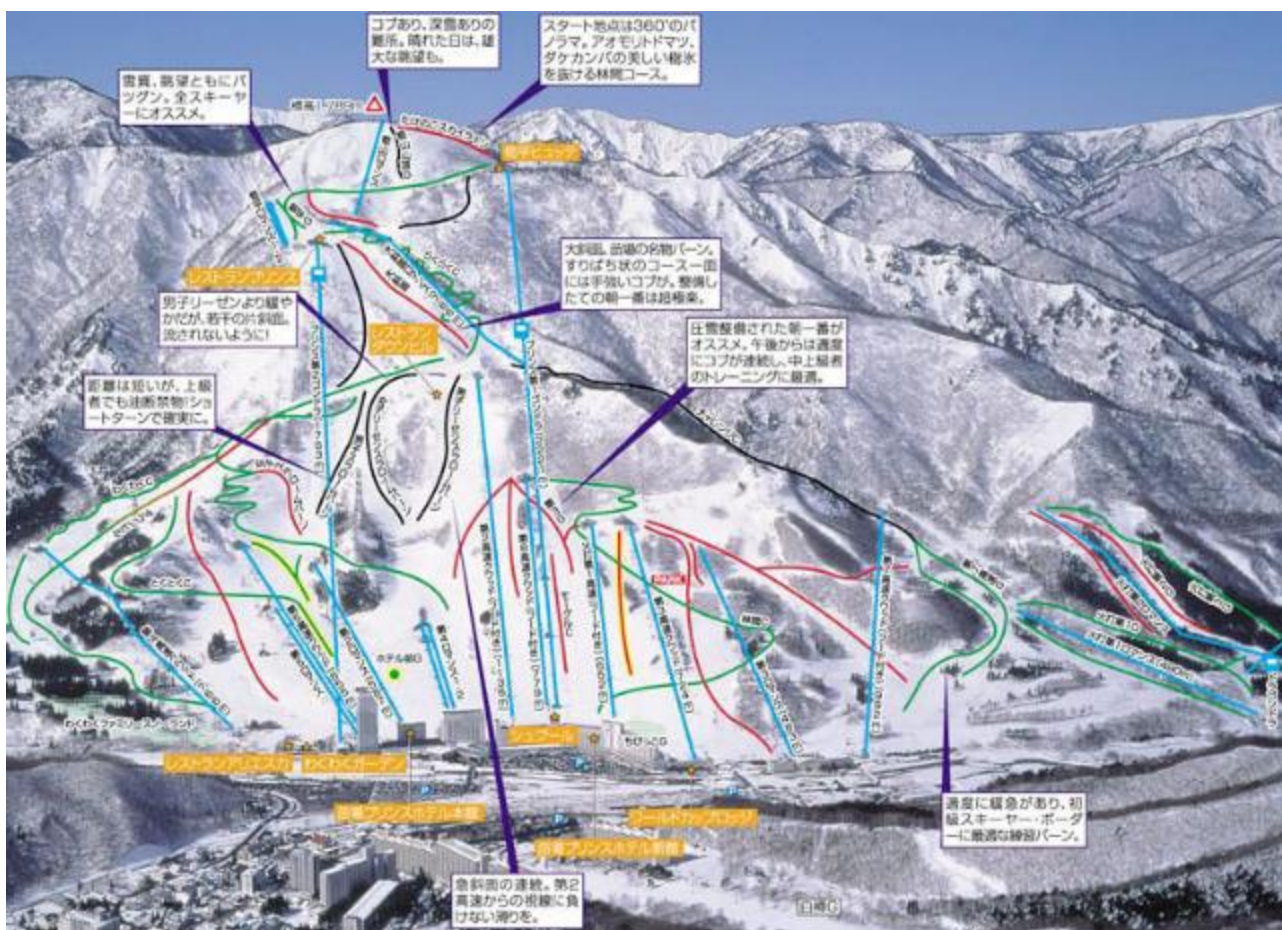
苗場&かぐらスキー報告

期 日 : 2018年 2月10日(土)~11日(日)

参加者 : CL柘植(記録)、杉山、加藤

報 告 :

2/10(土) 苗場スキー 快晴



苗場スキー場には加藤さんは行ったことがあるそうだが、杉山さんと柘植は今回が初めて。本日の宿、二居のロッジ・モントゼーに荷物を置いて、車で20分ほどで苗場スキー場だ。苗場プリンスホテルが壁のように立ち並び、入口からして南ゲートという門から入るのだが、なんとなくディズニーランドに入場するみたいで高揚した気分になる。いつも通り全リフト・全コース踏破を目指して向かって左のほうから順番に攻めていく。ゲレンデマップを見るとかなり変化に富んだゲレンデに思えるが、意外とシンプルで、ちょっとバラエティーに欠ける感もあるが、天気は快晴。山頂の筍山からは眼前に苗場山が寝そべっており、谷川連峰も指呼の距離だ。リフトに乗ってスキーヤーを見下ろしていると、ユーミンの曲が流れてくる。もう苗場に来た気分も最高潮で、都会的スキー場も悪くないと思う。苗場プリンスホテル前のゴンドラやリフトはかなりの行列で、こんなに混んでいるスキー場は本当に久しぶりだ。途中で1回レストランに入るが、座席がいっぱいなので、仕方なく外のパラソル下で持参のお茶とパンで軽い昼食をとり、また滑り続ける。午後からは上級コースにチャレンジするのが最近の行動パターンだが、筍山山頂直下の筍山ゲレンデは滑れたが、国体やワールドカップで使われたというスラロームバーンやリーゼンスラロームは誰も滑っていない。自分などがこのこ入り込むのはカッコ悪いので残念ながらパスして夕方宿に戻った。宿はロッジ・モントゼー、安岡さんに推薦された宿だが、美味しい食

事と心地よいサービスで大満足の民宿でした。



ゲレンデ中間部からプリンスホテルを見下ろす



平標～谷川方面の眺望

2/11(土) かぐらスキー 雪



かぐらといっても、上記ゲレンデマップの左半分の田代エリア、中央上部のかぐらエリア、右下のみつまたエリアの総称だ。ここは3人とも何度か来ているので、知ったところといえば言えるのだが、何しろ広大で一日滑り続けて、かろうじて全体をカバーできるという規模。ただ残念ながら本日は雪模様。でも視界は利くので、スピードをあまり出さないように注意して、田代からかぐらに滑りながら移っていく。加藤さんお気に入りの和田小屋で昼食休憩して、一旦みつまたに遊びに行き、再びかぐらを上から下まで滑りつくしてから田代に戻って本日のスキーを終えた。かぐらは苗場と比べると都会的派手さはないが、標高が高いので雪質はよく、またゲレンデもバラエティーに富んでいる。柘植はかぐらは3度目だがいつも天気が悪い印象。

杉山さんも同じらしいので、今度こそ天気のよい日に来たいね、という願いを残して本日のスキーを終

えた。

山行報告；柘植